

合格おめでとうございます。

時間のかかる面倒な課題に挑み、かつ、試験に臨んでくださったことに、改めて敬意を表します。

教員一同、皆さんの入学を心待ちにしています。

これから入学までの間に、大学での学習の準備も兼ねて課題を出しますので、それぞれ頑張って取り組んでください。なお、これとは別に、追加課題の指示が郵送で届いた方は、そちらもあわせて取り組んでください。

【課題1】

以下のドリルの全問題に解答し、ご自分で採点して、それを提出してください。

佐藤喜一著『基礎からのジャンプアップノート 漢字 2500 書き取り・読み取りドリル (三訂版)』
(旺文社、880 円、ISBN コード : 9784010354094)

パソコンやタブレット端末、スマートフォンなどでの文字入力ごく当たり前になっている今、どうして漢字の書き取り・読み取りをする必要があるのか、と疑問に思う方もいらっしゃるでしょう。

確かに、漢字を手書きする機会は減ったかもしれませんが、予測変換機能のおかげで日常的に漢字に触れる機会はむしろ増えており、その結果、同音異義語を正しく使い分けられる、相手や内容に応じてその場に最適な文字を選ぶことができる、といったスキルが今まで以上に求められるようになりました。教職や出版・編集をはじめ、正確に文字を読み書きできる技術が必要とされる職業も少なくありません。

これから日本文学科で学ばれる皆さんには、今のうちにそのような基礎力を身につけていただきたいと思い、この課題を選びました。是非、頑張って取り組んでみてください。

* このドリルはご自身で購入なさってください。

* 解答を自己採点した別冊・解答書き込み用ノート（ドリルの巻末に綴じ込まれています）の裏表紙に氏名を忘れず記入して、提出してください。

【課題2】

以下の 14 冊の中から、どれか 1 冊を選び、それを読んで、そこにどのようなことが書いてあったか、どのようなことが学べたかを、2000 字（原稿用紙 5 枚）程度で書きなさい。

* 対象書籍は、各自で購入するか、図書館で借り出してください。

* 感想は不要です。

* 書籍からの引用は最小限にとどめましょう。また、インターネット上に記載された内容の引き写し等も避けて、自分の言葉で書いてください。

* B4 判原稿用紙使用、縦書き、手書きを原則とします。

(Microsoft word などのワープロソフトを用い、印字したのも可 (A4 判でも可。C1~C4 については横書きも可。ただし、**C2 は横書き、ワープロソフトによる印字打ち出しとする**)。)

A1 小西甚一『古文の読解』、ちくま学芸文庫、1620 円

A2 藤原克己監修・今井上編『はじめて読む源氏物語』、花鳥社、1,800 円

A3 小川剛生『徒然草をよみなおす』、ちくまプリマー新書、880 円

A4 福田安典『医学書のなかの「文学」江戸の医学と文学が作り上げた世界』、笠間書院、2,376 円

B1 加藤周一『日本文学史序説 (下)』、ちくま学芸文庫、1,512 円

B2 安藤宏『日本近代小説史 (新装版)』、中公選書、1,700 円

C1 白井恭弘『外国語学習に成功する人、しない人—第二言語習得論への招待』、岩波書店、1,430 円

- C2 小熊英二『基礎からわかる論文の書き方』、講談社現代新書、1,200円
- C3 小野正弘『オノマトペ擬音語・擬態語の世界』角川ソフィア文庫、968円
- C4 川添愛『ヒトの言葉 機械の言葉 「人工知能と話す」以前の言語学』、角川新書、990円
- D1 二畳庵主人・加地伸行『漢文法基礎 本当にわかる漢文入門』講談社学術文庫、1,782円
- D2 吉川幸次郎『中国文学入門』、講談社学術文庫、924円
- D3 金谷治『中国思想を考える』、中公新書、814円
- D4 周作人著、木山英雄訳『日本談義集』、平凡社、3300円

【提出先（郵送）】

〒112-8681

東京都文京区目白台2-8-1

日本女子大学文学部日本文学科

* 課題1・2をあわせて送付してください。

* 送付には、青色のレターパック（レターパックライト）を使用してください。

* レターパックの品名欄には「入学前課題在中」とお書きください

【提出期限】

2025年1月10日（金）

提出されたレポートは、4月中にコメントを付けて返却します。

* 本課題に質問等がある場合には、以下のアドレスに、メールで問い合わせてください。

f_nichibun@fc.jwu.ac.jp（日本文学科のアドレス）

* 送信の際には、[件名]として、「総合型選抜入学予定者より」と示してください。



日本文学科公式マスコット・にちぶんちょう「さくら」